

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.kagyoren.jf-net.ne.jp/>



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
JF香川漁連 FAX 087-851-0699

漁協創立70周年記念 ＊香川県大会開催＊

11月19日(火)漁連会館6階大会議室において漁協創立70周年記念香川県大会が開催されました。式典では嶋野大会実行委員長の挨拶の後、来賓として浜田香川県知事、大山香川県議会議員、岸全漁連会長、奥田農林中央金庫高松支店長から祝辞を賜りました。



嶋野大会実行委員長の開会挨拶

表彰式では、まず初めに優良漁業協同組合表彰が行われ引田漁協、直島漁協が香川県知事賞を受賞されました。



優良漁業協同組合 香川県知事賞表彰の様子

次に、優良漁業協同組合、全国漁業協同組合連合会会長賞の表彰があり、鴨庄漁協、さぬき市漁協、伊吹漁協が表彰されました。

続いて、優良漁業協同組合、香川県漁連・香川県

信漁連会長賞の表彰、感謝状の贈呈、優良団体の表彰、特別功労者の表彰、功労者の表彰、永年勤続者の表彰がありました。

その後、池田漁協 三木組合長、多度津町漁協 志摩組合長、栗島漁協 浅野組合長が議長団に選出され、大会宣言が鴨庄漁協 山本組合長より、意見表明が北浦漁協 谷口組合長、観音寺漁協 山路組合長よりそれぞれ発表されました。

次に香川県漁協女性部連合会 石原会長より大会決議案が発表され満場一致で決議されました。大会決議案は下記の通りです。

- 一、「水産業振興基本計画」に則った香川型漁業の推進
- 一、漁協の経営基盤強化と効率的な事業運営体制の構築
- 一、種苗生産・中間育成・放流の拡充による栽培漁業の推進並びに資源管理型漁業の強化
- 一、消費動向・流通構造の変化に即し、環境に配慮した養殖業の振興及び、ノリ養殖における色落ち・食害対策の強化
- 一、県産水産物のブランド化、流通システムの改革による消費拡大・販売促進
- 一、後継者確保・育成対策の充実強化
- 一、漁場環境保全対策の拡充強化並びに海面利用の適正化
- 一、燃油高騰に対する抜本的かつ恒久的な対策の構築
- 一、JFマリンバンクの漁業金融機能の強化
- 一、漁協の共済・漁業共済・漁船保険の普及拡大並びに操業安全対策の強化

最後に高野大会実行副委員長から挨拶があり、香川県水産課柏山課長の万歳三唱で、盛会のうちに閉会となりました。

12月の予定

- 12月2日(月) 「水産政策の改革」への対応に係る第5回説明会
- 7・8日(土・日) 全国年明けうどん
- 8日(日) 観音寺・三豊おさかな市
- 10日(火) 香川県無線漁協理事会
- 19日(木) 漁連理事会・役員忘年会
- 28日(土) 仕事納め

嶋野会長 旭日小綬章受章



嶋野 勝路 会長

11月3日(日)、令和元年度秋の叙勲受章者が発表され、香川県においては62名の方が受章されました。

県下水産関係者では、嶋野会長が永年に亘る水産業振興功労に貢献された功績により、旭日小綬章を受章されました。

嶋野会長は平成11年に香川県かん水養殖漁協の代表理事組合長に就任、平成15年に(一社)全国海水養魚協会の会長に就任、平成29年に香川県漁連・香川県信漁連の代表理事会長に就任、その他数々の要職を歴任され、水産業の発展に尽力されてこられました。

(一社)全国海水養魚協会では、積立ぷらすや漁業経営セーフティネット構築事業などで手腕を発揮され、養殖業界の活性化をけん引してこられました。幅広い人脈と、誠実で熱心な性格がより多くの人々の気持ちを動かし、新たな制度を実現することができました。

嶋野会長から叙勲を受けられての気持ちをお聞きました。「漁夫生涯竹一竿と禅語の通り、53年間、漁業に携わり生計を立て家族他、数多くの人達に支えられ今日まで当然のこととして行動してきた事が、このような形で認められ大変光栄に存じております。今後共、受章に恥じぬよう一層精進して県内漁業の発展に微力ながら尽くして参る所存です。」

伝達式は、12月13日に農林水産省で行われ、その後皇居で天皇陛下に拝謁されます。

漁協運動功労者表彰

11月22日(金)全漁連の令和元年度漁協系統功労者表彰の式典が東京都千代田区一ツ橋の如水会館にて行われました。本年度は全国で72人の受章(漁協運動功労者表彰受章者36人、漁業振興功績者表彰受章者36人)がありました。



白方漁協 田中純雄さん

県下では白方漁協 田中純雄代表理事組合長が漁協運動功労者表彰を受章されました。

昭和42年から建網漁業に従事し、昭和55年に白方漁協の代表理事組合長に就任され、白方かきのブランド化や販売促進に取り組んでこられました。

また、香川県漁連理事、香川海区漁業調整委員会委員、香川県漁船保険組合理事を務める等、本県水産業の振興に努めておられます。

漁業振興功績者表彰

昨年度より新たに創設された漁業振興功績者表彰は庵治漁協の島野勝司さんと高松市瀬戸内漁協の西谷明さんが受章されました。



庵治漁協 島野勝司さん

島野さんは、庵治漁協いかなごだし網漁業者部会と魚類養殖漁業部会・青年部の代表を務め漁業者から厚く信頼されています。また、資源管理にも積極的で休漁日を設けるなどして庵治漁協資源管理計画を守り実践されています。



高松市瀬戸内漁協
西谷 明さん

西谷さんは青壮年部会長を8年間、高松地区底曳網協議会会長を3年間歴任されました。魚離れをする子供たちのために約15年間他県の修学旅行生を受け入れ料理の試食体験を行う他、親子料理教室も開催されました。新規漁業就業者を受け入れ指導したり、海ゴミ問題に取り組みられたり熱心に活動されています。

おさかな大使通信



《たかまつ市場フェスタ2019》

10月27日に高松中央卸市場にて、たかまつ市場フェスタが行われました。今回は大使2人でステージ上にて香川のお魚について一生懸命PRしました。また2回にわけて行われたオリーブハマチの試食ではたくさんの方に足を運んでいただき、すぐに大行列ができていました。試食は一瞬にして完食、香川でいかにオリーブハマチが人気なのか目の当たりにした瞬間でした。(中谷光里)



《宇多津秋の大収穫祭》

11月2、3日に宇多津で秋の大収穫祭が開催されました。2日にオリーブハマチのしゃぶしゃぶを先着200名に提供したのですが、準備中に大行列が出来、開始後間もなく在庫切れに!! オリーブハマチの大盛況っぷりに驚かされました。

「身に臭みがないからポン酢であっさり食べられる」「野菜に合う」「プリッとした食感そのままで美味しい」等の感想をいただきました。

また、「試食で生モノをいただくのは抵抗があるけど、しゃぶしゃぶの様に加工されてあると挑戦しやすいです」といった意見も複数挙がりました。

お客様の意見を参考に、香川県の旬の海産物を、色々なバリエーションでお届けするのも楽しそうだな、と思いました♪(塚原あゆみ)



ライフガードレディースが海上パトロール

海難事故防止啓発事業の一環として、日頃よりライフジャケット着用推進運動に取り組む「ライフガードレディースかがわ」(石原千代子会長)のメンバーを中心に、11月13日(水)香川県海域で操業中の漁業者に対し、ライフジャケットの着用を呼び掛ける海上パトロールを行いました。



海上パトロール出動式

海上パトロールの出動式ではライフガードレディースかがわ石原会長、続いて高松海上保安部五十嵐部長より開会挨拶があり、参加者16名(高松海上保安部、香川県水産課、香川県漁連、香川県信漁連、県水産振興協会)はライフジャケットを着用して、「ことぶき」及び「ことなみ」に乗船しました。高松港内～庵治沖及び港内～津田沖の操業中の漁業者にライフジャケットの常時着用を呼び掛け、また、ライフガードレディースかがわが用意したスマートフォン用防水パック及び啓発用のパンフレットも漁業者に配布しました。



香川県 漁業指導船「ことぶき」

KO プロジェクト

海難ノックアウト宣言!



小型船の海難防止のために
海に出たらコレだけは確実に!



出港前に船体、機関の
点検を行いましょ!

見張りは確実に!



「出港前の点検」「確実な見張り」だけで
7割の海難を防止出来ます!!

KOプロジェクトとは
香川(KAGAWA)、岡山(OKAYAMA)の
海難をノックアウトするための活動です



海上保安庁

* KOプロジェクトの一環として、釣り雑誌「レジャーフィッシング」に海難防止等に関する投稿をしています。

また、以下のURLに「～事故等調査事例の紹介と分析～運輸安全委員会ダイジェスト 漁船の安全運航のために」が載っていますので、是非ご覧ください。

* URL

http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/pdf/jtsbdi-No33_all.pdf